

菊川市次世代育成支援行動計画実施状況 【平成2年度実績】

詳細版

1. 「地域で支援 楽しく子育てできるまち」（地域における子育て支援）

区分		取り組み内容 (H17~ H21)		平成21年度実績	担当課
1-1地域における子育て支援サービスの充実	1-1-1公共施設の利便性向上と活用	1-1-01-1	幼稚園や保育所などを地域に開放し、高齢者と子どもとのふれあいの機会づくりを提供する(保育所地域活動世代間交流)	・幼稚園では、地域の方・高齢者の方を招いての行事などを開催し、ふれあいの機会を設けている。また、地域に出かけ活動を行い、地域とのふれあいもしている。(学校教育課)	学校教育課 こどもみらい課
		1-1-01-2	地域の地区センターや公会堂を開放し、子どもの遊びや勉強スペースとして活用する	・地域による宿泊体験学習を地区センターを利用し、実施した。昨年同様、放課後子ども教室の実施に協力した。また、小中学生が気軽に立ち寄れる環境作りに努めた。(宿泊体験学習実施箇所：6地区センター)(地域支援課) ・放課後子ども教室の活動場所として地区センターを利用2回(社会教育課)	地域支援課 社会教育課
1-1-2地域で子育て支援できるような環境づくり	1-1-02-1	1-1-02-1	地域、学校、家庭が連携を取り交流できる機会づくり	・地域ボランティアとして学校の授業や活動に協力していただいたり、学校行事に参加していただいたりして、交流の機会を設定した。学校評価をする際に、家庭や地域の意見を聴取した。(学校教育課)	学校教育課 こどもみらい課
		1-1-02-2	核家族の増加による地域コミュニケーション不足に対応するための交流機会づくり	・地域による宿泊体験学習を地区センターを利用し、実施した。(宿泊体験学習実施箇所：6地区センター) ・地区センターを拠点として設立したコミュニティ協議会主催で地域住民がふれあう様々なイベントが実施された。また、その企画に参加し、広報に努めた。	地域支援課
1-1-3活動への積極参加ができない母親へのフォロー	1-1-03-1	1-1-03-1	訪問指導	・児童虐待防止事業の一環で「こんにちは 赤ちゃん事業」に取り組むこととなり、4か月までの乳児がいる家庭に訪問活動を行った。また、必要に応じ育てにくさのある乳幼児やハイリスクの妊婦、健診未受診者にも訪問活動を行った。 「こんにちは赤ちゃん事業」は393件 91.7% 合計訪問件数 = 949件	健康長寿課
		1-1-03-2	電話連絡	・育児不安の強いケースや健診未受診のケースに電話で受診勧奨や状況確認等を行った。また、電話による相談も実施した。 電話相談のべ100件、乳児のべ44件、幼児のべ100件	健康長寿課
		1-1-03-3	母親のストレス解消の場として、同世代が交流、話し合いできる場の提供(児童館事業)	・児童館利用者・・・菊川児童館=31,459人/年、小笠児童館=17,504人/年	こどもみらい課 児童館

区分	取り組み内容 (H17~ H21)	平成21年度実績	担当課
1-1-4子どもに関するイベントの開催時期の配慮	1-1-04-1 働いている親が気軽に参加できるための、休日のイベント開催	・5月10日曜日に親子のふれあいの場を創造するため「親子のつどい」開催。148人参加	こどもみらい課
1-1-5各種相談や教室の開催時間や曜日の配慮	1-1-05-1 妊娠時に学べる出産や子育てに関する教室	・妊婦教室（プレママサロン）の実施（隔月・平日昼間・2回シリーズ3クール）。栄養士、歯科衛生士、助産師、保健師による生活指導、栄養支援、出産準備やグループワーク。延参加者数51人（託児8人）	健康長寿課
	1-1-05-2 働いている人に配慮した夜間や休日の子育て教室の開催時期の見直し	実施しなかった。	健康長寿課
1-1-6携帯メールなど多様なメディアを活用した子育て情報の提供	1-1-06-1 子ども用のサービス情報の提供	・市ホームページ更新に伴い、子育ての情報を更新し掲載した。	こどもみらい課
	1-1-06-2 予防接種や健診のお知らせをメールで提供する	・ホームページに各健診・相談等の日程（健康カレンダー）を掲載した。（企画政策課、健康福祉課）	健康長寿課 企画政策課
	1-1-06-3 保育所や幼稚園の情報提供を行う	・子育て支援センターに市内保育園、幼稚園の情報提供をおこなった。 ・保育園、幼稚園入園申込みの一覧表を作成し、利用者の利便性を図った。	こどもみらい課
	1-1-06-4 子育てに関する様々な情報提供	・子育て支援に係る情報パンフレット「子育てナビ」を年度更新し、窓口、市内児童館、図書館等に備え置いた（100部作成）。	こどもみらい課
1-1-7相談員体制の充実	1-1-07-1 家庭児童相談室（家庭相談員の配置）による子どもの心のケア	・延相談件数：2,514件（内新規受付85件）	こどもみらい課
	1-1-07-2 気軽に相談できるような場所（安心して相談できる対応）の提供	・家庭児童相談室に家庭相談員を配置している。	こどもみらい課
	1-1-07-3 主任児童委員の研修育成	・児童部の研修会を実施（主任児童委員を含む）	こどもみらい課

区分		取り組み内容 (H17~ H21)	平成 21年度実績	担当課
1-2保育サービスの充実	1-2-1通常保育の柔軟な対応	1-2-01-1 暖かくゆとりのある保育 (保育士のゆとり資質向上)	・市内保育士の合同研修の実施。(幼児施設連絡会主催)	こどもみらい課
		1-2-01-2 待機児童の解消	・待機児童は 0である。	こどもみらい課
1-2-2延長保育への対応	1-2-02-1 延長保育への対応	1-2-02-1 延長保育への対応	・延長保育実施園：5園 30,404,400円	こどもみらい課
		1-2-02-2 18:00以降の私立保育所での延長保育の対応 (一部 3~ 5年で実施)	・延長保育実施園：5園、月平均利用延人数：86.5名、補助金額：30,404,400円	こどもみらい課
1-2-3ニーズに合わせた休日保育の導入	1-2-03-1	サービス業に対応した土日の保育 (1園)	・未実施 (平成 23年度 ~ 実施予定)	こどもみらい課
1-2-4増加するニーズに対応できる放課後児童クラブの充実	1-2-04-1	1-2-04-1 未実施学校への学童保育の導入	・9箇所のクラブの開設があり、市内全小学校を対象に開設した。	こどもみらい課
		1-2-04-2 緊急時気軽に利用できる学童保育	・通常の保育者のケガ、入院等により緊急に保育が必要な児童を受け入れ可能。(2年度実績なし)	こどもみらい課
		1-2-04-3 夏休み等の預かり	・短時間パートの保護者の世帯で、長期休暇中だけの利用希望者の受け入れをした。	こどもみらい課
		1-2-04-4 学童保育の充実	・指導員研修を年 12回実施した。	こどもみらい課
1-2-5気軽に利用できる一時保育体制の強化 (9園)	1-2-05-1	1-2-05-1 一時保育所の追加	・合計 10園で実施した。延人員：1,057人	こどもみらい課
		1-2-05-2 気軽に利用できる一時保育	・利用の理由を制限せず保育園の都合さえ合えば申請を受理した。	こどもみらい課
		1-2-05-3 緊急時に利用できる一時保育	・前日の申込みでも保育園の都合さえ合えば申請を受理した。	こどもみらい課
		1-2-05-4 リフレッシュのための一時保育	・前日の申込みでも保育園の都合さえ合えば申請を受理した。	こどもみらい課
1-2-6ファミリーサポートセンターのピー・アールと利用促進	1-2-06-1	1-2-06-1 ファミリーサポートのピー・アール (ホームページ等)	・相談に来る保護者へパンフレット等を配布した。利用拡張のため、児童手当現況届会場や、公的機関にポスターを掲示した。	こどもみらい課
		1-2-06-2 ファミリーサポート受け入れ側の人員の育成。依頼者の募集・登録 (掛川広域で対応)	・会員状況・・・提供会員：4名、依頼会員 32名、両方会員 4名	こどもみらい課

区分	取り組み内容 (H17~ H21)	平成 21年度実績	担当課	
1-2-7地域子育て支援センターの機能強化	1-2-07-1 地域子育て支援センターの機能強化	・相談業務のほか、移動子育て支援センター「すくすくひろば」を開催した。 【きくがわ】相談業務（電話 10件、来館相談 122件） 子育て及び子育て支援に関する講習（20回： 776人） 公民館等に出向いての地域支援活動「すくすくひろば」（39回：1,297人） 【おがさ】相談業務（電話 3件、来館相談 126件） 子育て及び子育て支援に関する講習（22回： 537人）	こどもみらい課 子育て支援センター	
	1-2-07-2 小学生への対応	・未実施（児童館事業） 子育て支援センターの対象年齢は0から2歳（未就園）児及びその親対象である。小学生対応事業は児童館が担っている。（児童館は対象年齢0から18歳児童）	こどもみらい課 子育て支援センター	
1-3子育て支援のネットワークづくり	1-3-1子育てサークル(母親クラブ)の充実	1-3-01-1 補助金交付による活動の充実	・市内4団体の申請より補助金 378,000円を交付した。（会員総数：60名）	こどもみらい課 児童館
		1-3-01-2 子育て支援情報の提供	・子育て情報ナビを作成し、窓口や市内各施設等に配布した。また、市内子育て支援センター情報専用コーナーを設け、保育園・幼稚園情報等を提供した。	こどもみらい課
1-3-2地区センターや地域の公民館など既存施設の活用	1-3-02-1 地区センターや地域の公民館など既存施設の活用	・子育て支援センターによる「すくすくひろば」を行う場所として地区センターを貸し出した。8地区センター 39回	地域支援課	

2. 「明るく元気な子を産み育てられるまち」（母性、乳児及び幼児等の健康の増進）

区分	取り組み内容 (H17~ H21)	平成 21年度実績	担当課	
2-1子どもや母親の健康の確保	2-1-1子どもや母親の心のケア	2-1-01-1 不妊治療に対する医療費助成(県事業)	・県事業の周知・案内の実施。 ・市としての制度開始準備、要綱制定。	健康長寿課
		2-1-01-2 妊婦健診の助成	・個別健康診査方式で、受診券を発行し、各委託医療機関への受診を勧めた。平成21年度から助成機会を5回から14回に増加させた。延6,609回分発行した。 受診率は1~10回（妊娠10ヶ月未満）84.7%、11~14回（妊娠10ヶ月以上）が60.4% 受診者中要治療者は延524人だった。	健康長寿課
2-1-2健診や予防接種での配慮		2-1-02-1 お知らせをホームページに掲載(再掲)	・ホームページに各健診・相談等の日程を掲載した。	健康長寿課
		2-1-02-2 予防接種の集団接種 個別接種	・ポリオは集団接種、その他は個別接種で実施。 平均予防接種率：87~100% ・日本脳炎は平成21年6月から「乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン」第1期が使用可能となった。しかし接種勧奨を控えたままだったため、1期初回1回目は10.6% 2回目は6.9%の接種率だった。	健康長寿課

	区分	取り組み内容 (H17~ H21)	平成 21年度実績	担当課
	2-1-3訪問サービスと保健師の資質向上	2-1-03-1 乳幼児家庭への家庭訪問	・外国人以外での全件乳児訪問を目指して実施した。また、乳児訪問時に兄弟の幼児について様子を確認したり、相談を実施した。(新生児 1件、乳児 379件、未熟児 20件、幼児 153件、療育関係 1件)	健康長寿課
		2-1-03-2 保健師の資質向上	・担当ケースの処遇等について共有して話し合いをもった。研修等へも参加した。 母子関連の会議等に 3回、研修会 2回参加した。	健康長寿課
2-2食育の推進	2-2-1食育指導の実施	2-2-01-1 参加の呼びかけ、料理教室、離乳食教室、食育講演会など	・離乳食教室を 12回実施。175人参加(出席率 40.5%) ・7か月児相談での試食・集団指導の実施。(413人)個別の離乳食指導は 57%実施した。 ・2歳 6か月児健診では、幼児向けの食育エプロンシアターを 42組に実施。 ・児童館等と共催の料理教室は 12回実施。 ・北小こども教室 15回実施	健康長寿課
		2-2-01-2 参観会等での食育指導	・市内の希望する小学校に 5回、幼稚園に 6回実施。 ・放課後児童クラブへの支援を 4回実施。	健康長寿課
2-3子どもを取り巻く健康被害の防止	2-3-1母体と子どもの保護	2-3-01-1 母親の飲酒、喫煙などに対する指導、受動喫煙、胎児への影響などを指導	・母子手帳交付時にアンケートにて喫煙の有無を聞き取り指導を実施。	健康長寿課
		2-3-01-2 子ども前でたばこを吸わないよう指導	・幼児健診・相談の個別指導の場で指導を継続して実施した。	健康長寿課
	2-3-2公的な場所等での分煙	2-3-02-1 公的な場所等での分煙	・市役所等公共施設での分煙を引き続き実施した。(財政課)	健康長寿課 財政課
	2-3-3公園、スポーツ施設等の分煙	2-3-03-1 公園、スポーツ施設等の分煙	・市民総合体育館、小笠体育館、堀之内体育館は館内全面禁煙とした。館外に喫煙場所を指定。(社会教育課)	健康長寿課 社会教育課
2-4小児医療の充実	2-4-1産科医の確保	2-4-01-1 産科医の確保	・産婦人科医院 医療機関 ・市立病院産婦人科 2名の常勤と非常勤で対応	病院
	2-4-2小児科の確保	2-4-02-1 小児科の確保	・小児科医院 6医療機関 ・市立病院小児科 2名の常勤と非常勤で対応	病院
	2-4-3夜間救急医療体制の充実	2-4-03-1 夜間救急医療体制の充実	・医師会の夜間救急医療体制を広報に掲載 ・市立病院で夜間救急患者の受け入れ。 ・コンビニ受診の抑制啓蒙	病院
	2-4-4子どもの健康状態に対応した助成の充実	2-4-04-1 乳幼児医療費等の支援(就学前まで)	・小学校就学前までの児童の医療費の一部を助成。 H21扶助費：58,604,928円 件数：51,851件	こどもみらい課
		2-4-04-2 小児慢性特定疾患児に対する日常生活用具の給付	・平成 21年度は実績なし	こどもみらい課

3. 「子どもがいきいきと学びあえるまち」（子どもの心身のすこやかな成長に向けた教育環境の整備）

区分		取り組み内容 (H17~ H21)	平成21年度実績	担当課
3-1次代の親教育	3-1-1次代の親へ結婚、出産、育児の楽しさを伝える教育の導入	3-1-01-1 妊娠期間中の親育て講座の開催	・プレママサロン及びプレママ・パパサロンの実施（隔月6回、延51人参加）	健康長寿課
		3-1-01-2 プレママ・プレパパサロンでの父親の子育て参加指導	・プレママ・パパサロンに父親参加も呼びかけ実施（父親6人参加）	健康長寿課
	3-1-2乳幼児と小中高生のふれあいの機会提供による時代の親づくり	3-1-02-1 ボランティアや職業体験などでの保育所、幼稚園訪問	中学校家庭科の保育領域や体験学習での保育実習、小学校での生活科、総合的な学習の時間での園交流を実施した。	学校教育課
3-2家庭や地域の教育力の向上	3-2-1育児の大変さ以上に楽しさを感じられるような親の意識改革	3-2-01-1 子育ての楽しさを知る機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・療育教室「げんきっこ」を2回実施。利用必要者が増加したため、1月から1グループ別日に8回実施した。延参加者数：288人 ・兄弟の託児を実施し、対象児と保護者が対1で参加できるよう配慮した。 ・離乳食教室での託児。実施回数12回、託児83人。 ・健診、健康相談などの育児相談時には個々の対応に努めた。 ・児童館・子育て支援センター等からの依頼で、子育てについての学習や啓発を行い、子育ての楽しさや重要性等について学び合う機会を設けた。16回、25組（健康長寿課） ・学級・学年懇談会において、子育てや子どもの成長についての学習会や情報交換を行った。また、子育ての悩みについて相談できる教育相談を実施した。（学校教育課） 	健康長寿課 学校教育課
		3-2-01-2 子どものしつけについての学習の機会（健診時個別相談で対応）	<ul style="list-style-type: none"> ・健診時の個別相談にて個々に合った指導を実施。 ・西部健康福祉センター主催子ども虐待予防教室「ほっと2」をプラザげやきで実施。6回 5~8組参加。 	健康長寿課
		3-2-01-3 子どものしつけについての学習の機会（教育講演会・2歳児子育て教室）	・実施なし	健康長寿課
		3-2-01-4 家庭教育学級の参加促進（子育てや子どもへのしつけ以前に親育てが必要）	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育の知識や親の役割を学習する機会の提供・家庭教育学級推進事業（通年/幼・保・小・中2.8学級） ・地域青少年声掛け運動の呼びかけ 参加76人 	社会教育課
	3-2-2時代と共に移り変わる育児方法を祖父母世代へピー・アール	3-2-02-1 最近の子育ての仕方、食育、孫との接し方、怪我や病気への対応、子どもの発する救難信号の見分け方などについて指導する。（女性の会、寿大学などでの提供）	<ul style="list-style-type: none"> ・健診時の個別相談や健康相談等で個々に合った指導を実施。 ・健康相談 月4回 延利用者 乳児511人、幼児57人 ・子育て支援センターや児童館主催で子育てや食育の講話・実習を実施した。「子育て講座」2回37人、「コロコロタイム」3回58人、「親子クッキング」4回85人、「児童館クッキング」3回58人（健康長寿課） 	健康長寿課 社会教育課

区分	取り組み内容 (H17~ H21)	平成 21年度実績	担当課	
3-2-3子どもが地域活動に関わる子ども会の確立	3-2-03-1 子どものボランティア体験など	・ボランティア活動推進事業：ボランティア活動センター設置、受入施設（福祉施設、幼稚園、保育園等）5箇所、小・中・高2校と連携し、児童・生徒が各種ボランティア活動に参加した。 (延参加人数 2,608人)	社会教育課	
3-2-4季節に応じた行事開催による体験の場の提供	3-2-04-1 季節に応じた行事開催による体験の場の提供	・わくわく体験セミナー（8/10~ 8/12 静岡県立富士山麓山の村、小・中学生 46名参加、宿泊体験・野外炊飯・サイクリング・酪農体験等） ・地域文化体験教室 夏冬 2回開催 延参加人数夏 8人・冬 21人	社会教育課	
	3-2-04-2 子どもに遊びを教える大人の養成	・放課後子ども教室推進事業 放課後の学校施設を活用し、地域住民と子どもたちの交流活動を推進し、115名のボランティアが参加した。 (4教室 /135回 /参加児童 405人)	社会教育課	
3-3子どもの生きる力の育成に向けた学校教育環境の整備	3-3-1成長の基礎を作る幼児教育の充実	3-3-01-1 幼稚園の預かり保育	・私立園 2園で実施 中央幼稚園：15:00~ 17:30 15分 /50円 長期休暇中も実施（H19~ 実施） 堀之内幼稚園：降園 ~ 16:30 1時間 /200円 長期休暇中も実施（H20~ 実施）（こどもみらい課） ・公立幼稚園においては、検討中。（学校教育課、こどもみらい課）	学校教育課 こどもみらい課
	3-3-01-2 幼稚園での学校行事に伴う一時保育	・私立園 2園で実施 就園児の兄弟の預かり保育は園と要相談 保育園の緊急一時保育制度を利用（こどもみらい課） ・公立幼稚園においては、検討中。（学校教育課、こどもみらい課）	学校教育課 こどもみらい課	
	3-3-01-3 保護者を中心とした家庭での教育推進	・教育講演会や懇談会等において、家庭教育をテーマに掲げ、学習の機会を設けるなど家庭教育の推進に努めた。また、インターネットや携帯電話の普及に伴い、情報の扱い等について、リーフレットやDVDを活用して保護者に訴えた。	学校教育課	
	3-3-01-4 地域社会との連携	・幼稚園に地域の方々を招いたり、地域の自然や人とかがわる活動したり、地域との一体化を図っている。特に、園行事においては、地域との連携はより強い。	学校教育課	
	3-3-01-5 行政による幼児教育への関わり	・「幼児施設連絡会」で市内の幼稚園教諭、保育士の資質向上を図った。	こどもみらい課	
	3-3-2保護者を中心とした家庭での教育を推進	3-3-02-1 保護者を中心とした家庭での教育を推進	・教育講演会や懇談会等において、家庭教育をテーマに掲げ、学習の機会を設けるなど家庭教育の推進に努めた。また、インターネットや携帯電話の普及に伴い、情報の扱い等について、リーフレットやDVDを活用して保護者に訴えた。	学校教育課

区分	取り組み内容 (H17~ H21)	平成21年度実績	担当課
3-3-3地域社会と連携した幼稚園づくり	3-3-03-1 地域社会と連携した幼稚園づくり	・幼稚園に地域の方々を招いたり、地域の自然や人とかかわる活動したり、地域との一体化を図っている。特に、園行事においては、地域との連携はより強い。(学校教育課)	学校教育課 こどもみらい課
3-3-4公私幼稚園、保育園・小学校などの連携強化	3-3-04-1 公私幼稚園、保育園・小学校などの連携強化	・保育園、幼稚園、小学校、中学校の連絡会を実施した。また、入学・進学等にあたっては、保・幼・小の連絡会や小・中連絡会を実施し、連携を密にした。また、幼稚園と小学校においては、園児・児童との交流活動を行ったり、中学生が保育園にて保育体験を行ったりして交流をしている。(学校教育課) ・幼児教育の推進及び市内の幼稚園教諭、保育士の資質向上を図るため「幼児施設連絡会」で、実技研修や情報交換を行った。(こどもみらい課)	学校教育課 こどもみらい課
3-3-5幼保一元化の検討	3-3-05-1 幼保一元化の検討	・保育園入園や幼稚園入園手続きの窓口を一元化し市民の利便性が図られた。 ・公立等幼稚園保育園運営及び施設整備検討委員会にて、幼保一元化施設についての検討を行った。(こどもみらい課)	学校教育課 こどもみらい課
3-3-6だれからも信頼される学校づくりだれからも信頼される学校づくり	3-3-06-1 だれからも信頼される学校づくりだれからも信頼される学校づくり	・学校活動の様子や教育方針を広く地域や保護者に理解してもらえるように、学校便りやPTA総会にて説明をしたり学校公開等を実施したりしている。また、学校評議員から意見をいただいたり、保護者等のアンケート・評価を実施したりして、理解と協力を求めている。	学校教育課
3-3-7基礎基本をしっかりと学べる教育の充実	3-3-07-1 基礎基本をしっかりと学べる教育の充実	・各学校の校内研修では授業改善に重点を置いている。授業公開による研究、外部講師招聘による力量向上を図るなど積極的に取り組んでいる。また、研修の日常化を進め、研修主任や学びづくり部長(学校により名称は異なる)などによって、学習ルールなどの定着も図っている。	学校教育課
3-3-8豊かな感性と健やかな心の育成	3-3-08-1 豊かな感性と健やかな心の育成	・不登校や問題行動、いじめへの対応のため、全職員による子ども理解を進めた。また特別支援教育対象児の理解にも努めた。	学校教育課

区分	取り組み内容 (H17~ H21)	平成 21年度実績	担当課
3-3-9家庭・地域社会と連携を密にした開かれた学校の推進	3-3-09-1 家庭・地域社会と連携を密にした開かれた学校の推進	・開かれた学校を目標に、「内から外へ」向けて、情報の発信（おたより、ホームページの立ち上げ・更新、地域ボランティア等）、 「外から内へ」向けて、地域人材の活用、授業公開等に努めた。	学校教育課
3-3-10社会情勢の変化に対応していく学校	3-3-10-1 社会情勢の変化に対応していく学校	外国籍人口の増加 外国人初期支援教室の開設、外国人支援員の配置、特別支援教育 巡回相談、教育相談の実施による早期発見・早期支援、情報管理、情報活用 授業での指導、菊川市 ICT推進委員による指導モデルの提示を行った。	学校教育課
3-3-11児童、生徒の心のケア	3-3-11-1 思春期の悩み、いじめ・不登校、進学など多くの悩みに対応する体制・サービス	・心の相談員の配置（各中学校に1人ずつ）、スクールカウンセラーの小学校への派遣、教育相談の開設など、保護者からの相談に対して常時対応できる環境を整えた。	学校教育課
	3-3-11-2 色々な悩み、相談についてメールでの対応	・未実施	学校教育課
	3-3-11-3 教育相談員の研修（小中学校）	・各校の中核となる特別支援教育コーディネーターに、事例研究や保護者の悩み相談対応、支援の方法についての研修を実施した。 ・学級支援講師や心の相談員に対し研修会を開き、支援の方法、対応についての研修を行った。	学校教育課
	3-3-11-4 スクールカウンセラーの活用	・年間を通じて、計画的に同じカウンセラーが派遣され、相談業務を行うことをが実現し、児童生徒や保護者とカウンセラーとの人間関係が向上し、より充実した相談がなされるようになった。	学校教育課
	3-3-11-5 家庭児童相談室との連携	・要保護児童対策地域協議会と、必要に応じてケース会議に出席している。（こどもみらい課）	学校教育課 こどもみらい課
3-3-12子どもたちの心が豊かになるような土日の過ごし方提案	3-3-12-1 自然体験やボランティア体験などの機会の提供	・ボランティア活動推進事業：ボランティア活動センター設置（延参加人数 2,602人） ・地域文化体験教室 夏冬 2回開催 延参加人数夏 8人・冬 21人 ・わくわく体験セミナー（8/10~ 8/12 静岡県立富士山麓山の村、小・中学生 46名参加、宿泊体験・野外炊飯・サイクリング・酪農体験等） 再掲 3-2-3 3-2-4（社会教育課）	学校教育課 社会教育課

区分		取り組み内容 (H17~ H21)		平成 21年度実績	担当課
3-4思春期保健対策	3-4-1思春期の心のケア	3-4-01-1	思春期の心のケア	・県のスクールカウンセラーの全校配置、中学校に心の相談員を配置するとともに、教育相談室に2名の相談員を配置し、相談体制を充実させた。(学校教育課) ・エイズ予防の啓発として、両図書館でポスター等の展示をした。(健康長寿課)	健康長寿課 学校教育課
		3-4-01-2	思春期講座	・保健体育科の授業や学級活動及び道徳において、心と体の成長や第二次性徴等について指導を行った。(学校教育課)	健康長寿課 学校教育課
	3-4-2乳幼児とのふれあい機会の提供	3-4-02-1	総合的な学習の時間ならびにボランティア体験などの機会に保育所等で乳幼児とのふれあいの機会づくり	・高校生参加の赤ちゃん交流事業を児童館が実施した。延13人が参加した。	こどもみらい課 児童館
3-5児童の健全育成	3-5-1青少年健全育成の推進	3-5-01-1	次代を担う心豊かで健全な青少年の育成	・青少年健全育成市民会議各支部活動推進 8支部 ・テレビ寺子屋公開収録 in人づくりフェスタ開催(8/30:アエル:348人参加) ・青少年街頭生活指導(7/24:63人、12/18:64人) ・青少年を非行から守るキャンペーン(7/1:菊川駅:84人) ・青少年声かけ運動参加促進(146人が新規に参加)	社会教育課
		3-5-01-2	家庭における教育の充実	・テレビ寺子屋公開録画 in人づくりフェスタ開催(8/30:アエル:348人) (社会教育課) ・ブックスタート事業:413名/年12回 ・読み聞かせ活動の推進・・・おはなし会の開催年間延べ:1,845人(両図書館)、親子読書の集い:7/4:533人(アエル)	社会教育課 図書館
		3-5-01-3	芸術・文化活動の振興・保護・活用に努める	・写生大会 5/17:応募人数:358名(雨天中止) ・美術展 9/26~10/4:出品99点 来場者948名 ・国民文化祭 10/31~11/1:参加者数2,274人 来場者28,185人 ・書初展 1/30~1/31:出品2,416点 来場者1,746名 ・夏休みゆかいな体験講座(文化協会主催事業)7/29~8/2:参加人数:112名 ・地域文化体験教室 夏冬2回開催 延べ参加人数夏8人・冬21人 ・その他文化活動支援	社会教育課
		3-5-01-4	生涯スポーツの奨励と健康で活力あふれる人づくりの推進	・市スポーツ少年団交流会(3/6:127人:250,000円) ・第4回市長旗少年野球大会(4/6:9チーム:45,000円) ・少年野球第33回選抜菊川大会(11/15,21,22:32チーム:100,000円) ・第25回市長杯小学生バレーボール大会(4/26:36チーム:45,000円) ・スポーツレクリエーションフェスティバル(11/8:608人:281,113円)	社会教育課
	3-5-2子ども会活動の充実	3-5-02-1	子ども会活動の充実	・安全対策推進事業(地震体験・煙体験・防災講和)(5/24:83人参加),ドッチボール大会(7/5:総合体育館:256人),ウォークラリー(12/12:小笠セントラルパーク周辺:98人)	社会教育課

4.「子どもが伸びやかに育つまち」（子育てを支援する生活環境の整備）

区分		取り組み内容 (H17~ H21)		平成21年度実績	担当課
4-1良好な居住環境の確保	4-1-1生活環境整備による子育てしやすいまちづくりの推進	4-1-01-1	生活環境整備による子育てしやすいまちづくりの推進	・潮海寺地区計画道路5-3号線(L=35m)、2-9号線(L=180m)の狭隘道路改良工事を行った(都市計画課) ・通学路(赤土線・牛淵谷田部線)において歩道設置をおこなった。また、横地本線(段向橋)、内田加茂線、古谷高橋原線、東106号線の歩道設計を行った(建設課)	都市計画課 建設課
		4-1-01-2	安心して外で遊べる環境づくり	・駅南土地区画整理事業区域内の本通り線(歩行者・自転車専用道路)を整備した。 ・潮海寺地区防災公園第1(A=860㎡)にスプリング遊具2基、すべり台1基、防災公園第2(A=1,280㎡)にスプリング遊具2基、すべり台1基、うんてい1基を設置した。(都市計画課) ・生活関連道路改良整備を推進した(建設課) ・街路樹の管理や舗装整備、桜づつみの維持管理を行い安心・安全な環境づくりを行った。(建設課)	都市計画課 建設課
		4-1-01-3	公共トイレなどの改善	・公共施設の増改築時には、ハートビル法及び福祉のまちづくり県条例等に適合するよう努めた。(都市計画課)	都市計画課
4-2安全な道路交通環境の整備	4-2-1道路の整備(安心して歩ける環境)	4-2-01-1	ガードレール、防護柵の整備	・道路からの転落防止のためガードレールや転落防止柵を設置して安心して生活できる環境づくりに推進した。ガードレール・転落防止柵等L=116m、道路区画線19.3km 交通事故防止の推進を図った。 ・通学路や道路の交差点における歩行者の安全を確保するためカーブミラーを設置した。(14基)	建設課
	4-2-2街灯の設置	4-2-02-1	防犯灯の整備	・夜間歩行者が安心して通行できる環境(犯罪抑止)づくりのため、自治会より申請いただいた箇所等を審査し、防犯灯を設置した。(78灯設置)	安全課
4-3安全、安心なまちづくりの整備推進等	4-3-1身近で遊べる公園の充実	4-3-01-1	身近で遊べる公園の充実	・自治会管理の児童遊園の遊具設置、撤去、修繕に対し補助金交付。1自治会:100,000円	こどもみらい課
		4-3-01-2	公園の整備	・駅南土地区画整理事業区域内の公園3箇所(1号公園A=350㎡、3号公園A=700㎡、4号公園A=350㎡)を整備した。 ・潮海寺地区計画区域内に2箇所(防災公園第1A=860㎡、第2A=1,280㎡)を整備した。(都市計画課)	都市計画課
		4-3-01-3	既存公園の遊具の安全対策	・委託料 438,900円(都市公園等遊具点検:23公園・157基・点検6回/年、都市公園等砂場大腸菌検査:5公園(箇所 検査回/年)、修繕39,900円(1公園・1基)(都市計画課) ・自治会管理の児童遊園の遊具設置、撤去、修繕に対し補助金交付。1自治会:100,000円(こどもみらい課)	都市計画課 こどもみらい課

区分	取り組み内容 (H17~ H21)	平成 21年度実績	担当課
4-3-2児童館の充実	4-3-02-1 行事の開催日数 (同様の講座を数回開催する)と募集人員の増加	・人気のある講座は同様の講座を 2回開催。	こどもみらい課 児童館
	4-3-02-2 気軽に利用できるような体制づくりと職員へのフォロー	・「児童館だより」の配付により利用者にPRした。	こどもみらい課 児童館
	4-3-02-3 小学生への対応	・土曜日を利用し遊び・体験の教室を開催。 ・長期休暇を利用した教室の開催。 ・小学生対象のボランティアサークルの開催。	こどもみらい課 児童館
4-3-3図書館	4-3-03-1 子どもコーナーの充実	・児童書の購入 (両館) による蔵書数の増 H20年度末: 56,48冊 H21年度末: 61,874冊 (+ 2,38冊)	図書館

5. 「子どもの安全を地域みんなで見守るまち」 (子どもの安全の確保)

区分	取り組み内容 (H17~ H21)	平成 21年度実績	担当課
5-1子どもの交通安全を確保するための活動の推進	5-1-1子どもへの声かけ等、地域で見守る安全対策	5-1-01-1 子どもへの声かけ等、地域で見守る安全対策 ・四季の交通安全運動期間中に市内主要交差点や通学路 (計 4箇所) など交通指導員による交通指導を行なった。また、防犯立看板を公共施設 5 箇所に設置した。(安全課) ・県及び市でスクールガードリーダーを 3 名配置し、それぞれ 3 小学校を担当し、下校時を中心に巡回している。さらに各学校ではスクールガードを地域や保護者に依頼し、児童生徒が安全に登下校できるよう体制を整えた。(学校教育課)	安全課 学校教育課
	5-1-2事故を未然に防ぐ安全運転ピー・アール	5-1-02-1 事故を未然に防ぐ安全運転ピー・アール ・年間を通じ学校や幼稚園、保育所などで交通安全教室を開催し、交通安全指導を行った。また警察署等と連携し、運転手へ安全運転の意識が高まるよう啓発・活動し、交通安全を呼びかけた。	安全課
	5-1-3通学路の安全確保	5-1-03-1 通学路の安全確保 ・PTA や自治会を中心に通学路等の交通安全点検に取り組み、危険箇所については警察署及び各関係機関と協議し対応した。また、学校やPTAの協力を得て、学校周辺の危険箇所にストップマークを設置した。(安全課) ・全小学校で 5 年生や 6 年生の登校リーダーを中心に、PTAや警察、市の安全課を交えて安全な登下校を実現するための話し合いを行っており、成果を上げている。また、危険箇所については、PTAにより看板を立てたり、地区への呼びかけをしたりした。(学校教育課)	安全課 学校教育課
5-2子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進	5-2-1声かけ運動の推進	5-2-01-1 声かけ運動の推進 ・市のPTA連絡協議会の組織を中心に「ふれ愛さつ運動」を引き続き進め、地域ぐるみの声かけの輪が広がっている。	学校教育課
	5-2-2スクールガード・わんわんパトロールの全地域への普及	5-2-02-1 スクールガードわんわんパトロールの全地域への普及 ・県及び市でスクールガードリーダーを 3 名配置し、それぞれ 3 小学校を担当し、下校時を中心に巡回している。さらに各学校ではスクールガードを地域や保護者に依頼し、児童生徒が安全に登下校できるよう体制を整えた。	学校教育課

5-2-3学校の安全対策強化	5-2-03-1	学校の安全対策強化	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校では校舎や遊具、教材・教具などに危険がないか、日頃から点検をしている。月に1回「安全点検」を実施し、それぞれの担当箇所についてその状況を記録し、必要に応じて補修、撤去している。 ・学校訪問者は、必ず受付を通り、訪問者であることがわかるような名札をつけさせている。 	学校教育課
----------------	----------	-----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------

6.「働きながら 安心して子育てできるまち」（職業生活と家庭生活との両立の推進）

区分		取り組み内容 (H17~ H21)		平成 21年度実績	担当課
6-1多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し等	6-1-1企業が子育て夫婦に対して理解を示せる体制づくり	6-1-01-1	企業への働きかけ	・企業あてメールによるセミナー等開催の通知 (商工観光課)	商工観光課 こどもみらい課
		6-1-01-2	育児休暇取りやすい環境づくり	・啓発ポスターの掲示・パンフレット配架によるの周知。 (商工観光課)	商工観光課 こどもみらい課
	6-1-2父親の子育て参加への呼びかけ (男女共同参画社会)	6-1-02-1	母子健康手帳交付時に父親の参加への呼びかけ	・母子手帳交付時に「お父さんの子育て手帳」の配布を行った。 ・プレママ・パパサロンのちらしの配布と参加の勧めを行った。	健康長寿課
		6-1-02-2	両親教室の開催	・平日にプレママ・パパサロンとして実施した。	健康長寿課
6-2仕事と子育ての両立の推進	6-2-1企業が配慮する仕事と子育てを両立する女性への子育て支援	6-2-01-1	女性の労働環境の整備	・啓発ポスターの掲示・パンフレット配架によるの周知。 (商工観光課)	商工観光課 企画政策課
		6-2-01-2	保育支援体制の充実	・啓発ポスターの掲示・パンフレット配架。(こどもみらい課) ・育児休暇後、安心して職場復帰できるよう院内保育所(認可外保育施設:さくらんぼ保育室)を設置 延入室児童数 141人(菊川市立総合病院)	こどもみらい課 病院
	6-2-2増加するニーズに対応できる放課後児童クラブの充実(再掲)	6-2-02-1	未実施学校への学童保育の導入	・市内全校対象に 9箇所開設。	こどもみらい課
		6-2-02-2	緊急時気軽に利用できる学童保育	・通常の保育者のケガ、入院等により緊急に保育が必要な児童の受け入れが可能な体制とした。(平成2年度は実績なし)	こどもみらい課
		6-2-02-3	夏休み等の預かり	・短時間パートの保護者の世帯で、長期休暇中だけの利用希望者の受け入れをした。	こどもみらい課
		6-2-02-4	学童保育の充実	・指導員研修を年 12回実施した。	こどもみらい課

7.「子どもの権利を大切にすまち」（要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進）

区分		取り組み内容 (H17~ H21)		平成 21年度実績	担当課
7-1児童虐待防止対策の充実	7-1-1虐待防止対策強化と発見時の対応ピー・アール	7-1-01-1	虐待防止対策強化と発見時の対応ピー・アール	・要保護児童対策地域協議会の開催。（代表者会議：1回、実務者会議：7回、個別ケース検討会：175ケース） ・虐待防止月間に広報に虐待予防の記事を掲載。	こどもみらい課
	7-1-2相談体制と保護の確立	7-1-02-1	相談体制と保護の確立	・要保護児童対策地域協議会の開催。（代表者会議：1回、実務者会議：7回、個別ケース検討会：175ケース）	こどもみらい課
7-2ひと親家庭等の自立支援の推進	7-2-1母子家庭の支援	7-2-01-1	母子家庭の支援	・高等職業訓練促進給付（支給件数：1件、給付額：634,500円）	こどもみらい課
	7-2-2父子家庭の支援	7-2-02-1	父子家庭の支援	・家庭児童相談の実施	こどもみらい課
7-3障害児施策の充実	7-3-1各機関が連携し継続的に支援を行える体制整備と人材育成	7-3-01-1	障害を持つ子の支援と親のネットワークフォロー	・子どもを守るネットワーク（療育）にて関係機関で情報交換を実施。（年3回）	健康長寿課
		7-3-01-2	障害を持つ子どもの早期発見と継続的なケア	・めばえ発達相談員、在宅心理相談員による発達相談を実施。（実施延人数：82名）（健康福祉課、こどもみらい課） ・療育教室「げんきっこ」延288人参加。（健康福祉課） ・0～2歳児について、市内幼稚園・保育園（12園）を年1回、在宅心理相談員と保健師で訪問し、園での様子観察と情報共有を図った。（健康福祉課） ・3～5歳児について、市内幼稚園・保育園（17園）を年2回、在宅心理相談員と保健師で訪問し、支援方針の助言・相談・専門機関等の紹介をした。（こどもみらい課） ・特別支援教育部会実務者会議で、継続支援ケース等について状況確認、今後の支援の方向性について申し送った。（年1回 実施延人数：62人）（健康長寿課、こどもみらい課、学校教育課）	健康長寿課 こどもみらい課 学校教育課
		7-3-01-3	障害を持つ子の親への支援、カウンセリング	・療育教室「げんきっこ」の実施 参加延人数：288人 その中で親同士の交流や個別対応により支援を行った。（健康長寿課） ・障害児やその保護者への支援のため東遠学園等に業務委託し、各種相談や情報提供を総合的に行った。（福祉課） ・障害者相談員（身体・知的等）を配置し、相談事業を実施した。（福祉課）	健康長寿課 福祉課
		7-3-01-4	障害を持つ子の幼稚園、保育所、小中学校での受け入れ（就学指導員）	・学校や園を対象に特別支援教育巡回相談を実施したり、具体的な対応や支援方法についての職員研修会を実施したりした。また、小中学校全校に、学級・学校支援員を配置した。小学校への入学に当たって、保育園や幼稚園と小学校への見学を実施するなど、連携し就学指導を行った。（学校教育課） ・民間保育園に障がいを持つ子の受入れに対し保育士の加配について補助金の支払いをした。（こどもみらい課）	学校教育課 こどもみらい課

	取組み内容 (H17~ H21)	平成 21年度実績	担当課	
7-3-1各機関が連携し継続的に支援を行える体制整備と人材育成	7-3-01-5 障害を持つ子の放課後の充実と親の負担軽減 (心身障害者放課後対策事業)	東遠学園及びつばさの会に心身障害者放課後対策事業を委託実施した。また、5月にコロボックルを開設し、小笠地区の利用者の利便性を図った。 ・たんぼぼ 664回 ・ふれんずつばさ 1,600回	福祉課	
7-3-2心身障害に対する大人の認識を改める	7-3-02-1 心身障害に対する大人の認識を改める	・特別支援教育体制検討会 (要保護児童対策地域協議会) に出席した。(福祉課) ・「発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業」において、幼児・児童の保護者対象に「子育て講演会」を実施し、子育てのアドバイスをはじめ障害等の理解を深めた。(学校教育課)	健康長寿課 学校教育課	
7-4要保護・準要保護児童生徒への援助	7-4-1要保護・準要保護児童生徒が安心して通学できる環境づくり	7-4-01-1 要保護・準要保護児童生徒が安心して通学できる環境づくり	・要保護・準要保護児童生徒の世帯に就学援助費を支給し、小学生 98人、中学生 53人の学用品費や給食費等の援助を行った。	教育総務課
		7-4-01-2 要保護・準要保護児童への支援	・要保護・準要保護児童生徒の世帯に就学援助費を支給し、小学生 98人、中学生 53人の学用品費や給食費等の援助を行った。	教育総務課

8.「温かなサービスで子どもを産みたくなるまち」(各種支援サービス)

区分	取組み内容 (H17~ H21)	平成 21年度実績	担当課
8-1経済的な支援	8-1-1各種経済的補助の充実	8-1-01-1 児童手当 ・障害児福祉手当件数：307件 26名 ・重度心身障害児扶養手当件数：143件 48名 ・特別児童扶養手当(障害児に対する手当)：208件 69名 (福祉課) ・被用者児童手当(年間延受給者数：11,623人、支給額：116,230,000円) ・非被用者児童手当(3,269名、32,690,000円) ・特例給付(300名、3,000,000円) ・被用者小学校修了前特例給付(36,101名、201,190,000円) ・非被用者小学校修了前特例給付(10,812名、60,785,000円) (こどもみらい課)	福祉課 こどもみらい課
		8-1-01-2 経済的な支援 ・就園支援のため私立幼稚園への就園奨励費を補助。 対象人数：300人、補助額：22,499,700円(内訳=堀之内幼稚園：170名：12,889,500円、中央幼稚園：129名：9,551,000円、くるみ幼稚園：1名：59,200円)(こどもみらい課) ・子育て優待カード事業実施。(こどもみらい課)	関係各課
8-2行政サービスの充実	8-2-1市民が気軽にサービスを利用できる環境をつくる	8-2-01-1 職員資質の向上 ・派遣研修に公募制を導入し、職員が積極的に研修の機会を活用できる環境を創った。職員一人ひとりの研修受講の幅を広げ、職員の能力開発の向上に努めた。 ・前年度に引き続き「子育て相談」部門に保健師等の専門職の配置を行い、子育て支援に努めた。	総務課